



5月上旬ごろに花を咲かせる



講師を務めた黒瀬主査



剪定する際のポイントについて説明

2月14日、音江地区のはやし果樹園にて、深川市果樹協会ときたそらち果樹生産組合が桜桃剪定講習会を開催し、桜桃生産者や関係機関職員など16名が参加した。

講師は、空知農業改良普及センター北空知支所の黒瀬忍主査が務め、剪定のポイントを約2時間にわたって説明した。

黒瀬氏は、「木が大きく生長したことを考えながら、日光が全体に当たるよう剪定することが一番大事」などとアドバイスした。

～目次～

- ◆ 青年部一已支部 除雪ボランティア — 2
- ◆ 令和2年度 営農組合長 — 5
- ◆ 作業衣類展示会 開催 — 6
- ◆ 営業時間変更のお知らせ — 11

JAきたそらちでは、ホームページとFacebookで、魅力満載の情報を発信中です！ ぜひ、ご覧ください！



深川市農業対策協議会 総会

1月27日、深川市や農業関係団体で組織する深川市農業対策協議会の総会が、ラ・カンパーニュホテル深川にて開催され、

＜共励会表彰 受賞生産者＞

最優秀賞 榎 勝洋さん（音江地区）

優秀賞 山崎次路さん（メム地区）

【ふっくらんこの部】

最優秀賞 渡邊 学さん（メム地区）

優秀賞 馬場一俊さん（メム地区）

【ゆめぴりかの部】

最優秀賞 佐藤孝俊さん（メム地区）

優秀賞 溝口 勝さん（メム地区）

【きらら397の部】

最優秀賞 谷岡 勤さん（納内地区）

優秀賞 松野勇二さん（納内地区）

関係機関など約70名が参加した。

開会にあたり遠藤良明本部長は、「昨年はJAの精米施設が稼働を始め、また「ふかがわまい生産組合」が設立し、これからは白米の販売にも力を入れていきたい。本組織としても皆さんからの貴重なご意見等を頂きながら、イベントや販売促進活動等を通し、ふかがわまいのPR・販売に力を入れていきたい」と挨拶した。議事の前には「クリーンライスふかがわ生産販売拡大委員会」の共励会表彰が行われ、生産者8名に賞状と記念品が授与された。

引き続き開催された「農業フォーラム2020」では、北海道農政部の小檜山久寿氏による基調講演が行われ、「深川市は水稻において全道の中でもトップクラスの条件が整っている。道産米の中心地として、水張面積の維持拡大と高品質な米を作り続ける努力を継続してほしい」と訴えた。



青年部一已支部



除雪ボランティア



2月12日、青年部一已支部（小畑雅英支部長、部員25名）が深川市一已地区の高齢者宅を訪問し、除雪ボランティア活動を行った。地域貢献活動の一環として12年間続けている。

参加した部員は、住宅の周りに積もった雪山を手慣れたスコップさばきで崩した。今年は暖冬傾向で積雪量が少なく、例年よりも早く作業を終えた。

小畑支部長は「青年部での活動をアピールしながら、地域貢献に繋げたい。これからも活動を続けていきたい」と話す。





ぬくもり米生産組合 第16回通常総会



2月10日、ラ・カンパーニュホテル深川にて、ぬくもり米生産組合（伊藤裕美組合長、組合員300戸）が第16回通常総会を開催し、組合員やJA職員など32名が出席した。

伊藤組合長は開会にあたり、「ふっくらんこ」は首都圏の大手スーパーマーケットで販売させて頂き、お客様からも高い評価を得ている。米の消費が年々減少している中で、生産者の経営が少しでも良くなるよう新規実需の取り込みなどに努力していきたい。昨年8月の「ふかがわまい生産組合」発足に伴い、当生産組合を移行するため、本総会の議案の中で解散を提案させていただいており、特段のご理解を願いたい」と挨拶した。

総会では、議長に中川幸生氏（メム地区）を選出し、令和元年度の事業報告および収支決算報告について、また同生産組合の解散ならびに剰余金の処分方法について原案通り承認された。議事終了後には、同生産組合の解散に伴い、初代組合長の横井幸一氏（一已地区）、2代組合長の松田俊雄氏（音江地区）、3代組合長の菊入等氏（メム地区）に感謝状が贈呈された。

販売部



伊藤組合長による開会挨拶



感謝状の贈呈

ふかがわまい生産組合

第1回通常総会

2月10日、ラ・カンパーニュホテル深川にて、ふかがわまい生産組合（伊藤裕美組合長、組合員330戸）が第1回通常総会を開催し、組合員や来賓、JA職員など84名が出席した。

伊藤組合長は開会にあたり、「当生産組合設立からこの半年間で、新規実需訪問や輸出に関する協議、地産地消イベントなど様々な事業に参加させて頂き、目標に掲げてきた行政・農協・生産者の三位一体となった活動を展開してきた。多くの生産者から「ふかがわまい生産組合」に加入してよかったと思って頂けるよう、今後も様々な事業の中で深川産米をPRし、またJAの施設を最大限に利用して、深川の米を日本一にしたい」と挨拶した。

総会では、来島秀樹氏（一已地区）を議長に選出し、令和元年度事業報告や令和2年度事業計画、令和3年産「ふっくらんこ」の栽培基準・種子の配分案などが原案通り承認された。



伊藤組合長による開会挨拶



北海道青年農業者会議 アグリメッセージ発表で竹林司氏が最優秀賞受賞

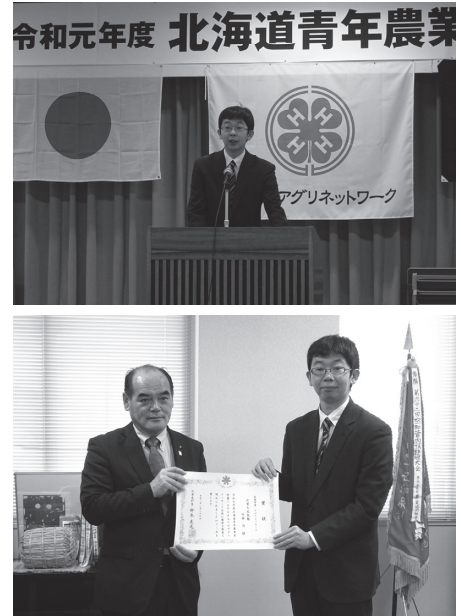
1月28日と29日の2日間、札幌市の北海道自治労会館にて開催された「北海道青年農業者会議」のアグリメッセージ発表で、北育ち元気塾生の竹林司氏（北竜町）が最優秀賞に輝いた。

同会議は、道内の若手農業者が日頃の実践活動で身につけた農業技術や経営改善の知識、農村生活や農村活性化などの情報交換・交流を深め、農業経営者としての資質向上と青年農業者からのメッセージを広く社会に向けて発信することにより、北海道の新しい農業及び農村づくりを目指すことを目的に、北海道アグリネットワークや北海道4Hクラブ連絡協議会などが主催し、全道の若手農業者など約350名が参加した。

日々の営農や生活で感じたこと、また将来の夢や目標を発表するアグリメッセージには、全道の地区予選を通過した11人が出場し、「農家になるのはもったいない？」と題したアグリメッセージを発表した竹林氏が見事最優秀賞に選ばれた。竹林氏は2月下旬に東京都で開催される全国青年農業者会議に北海道代表として出場する。

1月30日、竹林氏は当JAの柏木孝文組合長を訪問し、最優秀賞受賞の報告と全国青年農業者会議への意気込みを話し、柏木組合長からは激励の言葉を受けた。

【営農企画課 石野】



農業 振興部

「北育ち元気塾」閉講式と第8回研修会

2月4日、当JA本所にて「北育ち元気塾」の令和元年度閉講式が行われ、元気塾生や関係機関など36名が出席した。

閉講式では、北空知農業後継者育成支援協議会の佐藤忠美会長が「令和2年度も引き続き研修に参加していただき、さらに営農の力を身につけて今後の農業を盛り上げてほしい」と挨拶し、続けて皆勤賞の表彰や令和元年度の研修実績の報告が行われた。

閉講式に引き続き、年度最終となる第8回研修会が開催され、「法人設立から15年経って」をテーマに北海道指導農業士の伊藤淳氏（沼田町）による講演や、「ゆめぴりか」、「そらゆき」、「南魚沼産コシヒカリ」、「空育194号」の食味試験、普及センターの職員より昨年の水稻生育状況の結果を基に稲作の反省と課題の報告が行われた。最後に塾生である蔵根将洋氏と竹林司氏よりアグリメッセージの発表が行われた。

【営農企画課 石野】



佐藤会長による挨拶



食味試験に挑戦する塾生

令和2年度 営農組合長																今年度の各地区営農組合長が決まりましたので、お知らせ致します。				
地区名		組 合 名		氏 名		構成員			地区名		組 合 名		氏 名		構成員					
音 江	菊	丘	若	林	茂	10			雨 竜	南	盛	池	田	幸	広	36				
	音	江	東	大	谷	内	清	12			東	栄	石	橋	章	雄	21	◎		
	内		園	由	野	政	之	14				西	広	瀬		功	22			
	音	江	中	央	若	林	勝	57		◎	中	央	柴	垣	恵	一	21	○		
	音	江	西	寺	本	義	隆	38		○	本	牧	高	田		浩	33			
	(音 江)						計131戸				北	友	沖	田		努	35			
メ ム	北	東	中	村	二	仁	19	◎	北 竜	(雨 竜)						計168戸				
	芽	生	横	内	友	博	23			碧	水	山	外	明	人	19				
	南	区	溝	口		勝	25	○		岩	村	竹	林	政	信	22				
	北	菊	水	金	谷	良	和	16			美	葉	牛	平	林	和	美	30	○	
		巴		中	川	幸	生	23			古		作	川	島	直	美	9		
	(メ ム)						計106戸				板		谷	渡	辺	俊	成	23		
一 已	一	已	第	1	村	澤	克	巳	24		幌加内	西		川	藤	井	啓	二	9	
	一	已	第	2	荒	井	秀	章	24				和		川	瀬		崇	14	◎
	一	已	第	3	高	瀬	慎	司	22			三		谷	高	田	秋	光	13	
	一	已	第	4	來	島	秀	樹	26	◎		恵		竜	佐	藤	綾	人	22	
	一	已	第	5	廣	田	和	也	22			(北 竜)						計161戸		
	一	已	第	6	挽	地	直	之	28	○		南		幌	中	川	秀	雄	28	
納 内	納	内	村	椿	光	生	79	◎	幌加内	幌		中	稲	見	浩	一	30			
	(納 内)						計79戸				幌		里	阿	部	隆	幸	32	◎	
多度志	多	度	志	南	大	井	清	一		47	○	幌	北		幌	畑	正	志	15	○
	多	度	志	北	池	田	隆	幸		40	◎				笠	井	正	展		
	(多度志)						計87戸			(幌加内)						計105戸				

◎印は営農組合長連絡協議会代表者です。
○印は営農組合長連絡協議会副代表者です。

営農組合数 38組合 営農組合戸数 983戸

JAきたそらち農業教育振興基金 収支報告

篤志者の寄付等からの積立てによって造成されている当JA農業教育振興基金は、令和2年1月末残高は6,533,839円となっています。
今後においても当JA組合員教育の実施や地域農業振興のため、優れた農業者の育成を目的として活用させていただきます。

自：平成31年2月1日～至：令和2年1月31日

【収 入】	項 目	金 額	摘 要
	繰越金	6,521,761	平成31年1月31日残高
	寄付金	50,000	
	その他（貯金利息）	56	
	収入合計	6,571,817	
【支 出】	項 目	金 額	摘 要
	農業後継者、新規就農者 育成研修助成	37,978	音江地区1名・納内地区1名・多度志地区1名・ 北竜支所1名、合計4名研修受講
	支出合計	37,978	
	差引残高	6,533,839	

★女性部フレッシュミズ合同交流会★開催★

農業
振興部

1月20日、当JA女性部フレッシュミズの各支部から部員8名が集まり、深川市文化交流ホールみ・らいのワークショップルームで第14回合同交流会が開催された。

今回は、道内各地に講師を派遣してヨガ教室を行う札幌市のヨガスタジオ「&YOGA Sapporo」から浅井優子氏を講師に迎え、「体幹引き締めヨガ」を体験した。腹式呼吸を意識しながらのストレッチ運動や、お腹や背中周りの筋肉を引き締め代謝アップも目指すヨガを体験した部員は、日頃使わない筋肉を伸ばしたことで声にならない悲鳴をあげていた。また浅井氏のスタイルの良さに関心を持った部員は、「浅井さんを目指すべく家事などをしながらストレッチをしたい」などと話していた。

終了後は、音江地区にあるレストラン空音で懇親会を行い、普段会うことの少ない他支部の部員と女性部活動の情報交換などをしながら食事を楽しんだ。

【営農企画課 墓田】



//////作業衣類展示会 開催//////

経済部

2月6日と7日の2日間、営農センター資材店舗で毎年恒例の作業衣類展示会が開催された。普段店頭にはない種類の長靴やヤッケなどが特価で並び、2日間で約400人が訪れた。

同展示会は組合員に好評で、間もなく始まる春作業に備え、田植え靴や手袋などをまとめて購入していた。買い物袋いっぱい購入した組合員は、「こんなに安く買える機会はなかなかない。このような展示会は毎年続けてほしい」と話した。

また今年は、深川市を拠点に移動販売を行う「炭火焼き鳥【他力本願】」による焼き鳥販売と、小樽市の「わだ商事」による腕時計の電池交換や婦人服等の販売もあり、どちらも大好評だった。

【資材課 明月】



女性部イチヤン支部 農閑期学習会

深川支所

1月21日、女性部イチヤン支部（平野あい子支部長）の農閑期学習会が営農センターで開催され、部員8名が参加した。

同支部が12月に音江支部と合同で開催したフラワーアレンジメント講習会にも来て頂いた「花パレット」の青木真弓氏と栄美枝子氏を講師に迎え、今回は多肉植物の寄せ植えを行った。部員は、用意された「ヒスパニクム」や「だるま秋麗」など12種類の植物の中からそれぞれ気に入ったものを5種類ずつ選び、軽石と専用の土が入ったブリキ缶の鉢植えに植え替えていった。青木氏から「植物をバランスよく生長させるには、すき間を空けて植えてあげることが大事」とアドバイスを受けながら、1時間ほどで作品を完成させた。

「バランスを考えながら植えるのは簡単そうで意外と難しかった」と感想を述べる部員もあり、部員同士で会話を楽しみながら和気あいあいとした学習会となった。

【深川支所 藤井】



雨竜町水稻生産部会 第2回通常総会

雨竜支所

2月7日、雨竜町水稻生産部会（沖田浩一会長、会員144戸）の第2回通常総会が雨竜支所で開催され、会員や来賓など約50名が出席した。

開会にあたり、沖田会長は「去年は品質・収量的には悪い年ではなかったが、今年はもっといい年にしたい。今年稼働となる温湯消毒設備を利用したクリーン農業を拡充させ、生産部会として消費者により喜ばれる米づくりを目指したい」と挨拶した。



沖田会長による開会挨拶



引き続き、西野尚志雨竜町長や当JA岩田清正専務などが祝辞を述べ、総会では令和元年度の事業報告や収支決算など全ての議案が原案通り承認された。

総会后、ホクレン岩見沢支所の松田究係長が「米の販売情勢について」、また当JA販売部の竹田秀人考査役が昨年の稲作の反省と今年の栽培技術ポイントについて講演を行い、参加者全員が熱心に聴講した。

【雨竜支所 堀口】



新 風



新規就農者



氏 名 おおつか わたる 渉 さん

年 齢 34 歳

出 身 地 秩父別町

趣 味 野球

研 修 先 雨竜支所 (株)OKM
代表取締役 大熊義和さん

☆目指す農業

就農前は、秩父別町のバラ園で管理人として働いておりました。この仕事を通して、農作物を育てる楽しさを感じ、同級生であった大熊義和氏が経営する法人に就農することになりました。

法人の従業員として2年が経過しましたが、作業方法等について社長の指示を仰ぐ事が多く、日々農業の奥深さを感じながら業務にあたっております。就農前は、お米の味を気にする事なく食べておりましたが、播種から収穫まで毎日手をかけたお米の味はとても美味しく、農業の魅力を更に感じております。

将来は、消費者の方々にお米を食べて感動してもらえるような農業者になりたいと思っておりますので、今後とも皆様のご指導宜しくお願い致します。

【新規就農希望者受入農家・新規就農希望者募集】

JAきたそらちでは、新規就農希望者を受け入れていただける生産者を募集しております。興味がある方は、気軽にご問い合わせ願います。

また、JAホームページ・新農業人フェア等で新規就農者の募集も実施しておりますので、お気軽にご相談願います。

- ◇ 問い合わせ先：農業振興部 営農企画課【TEL：0164-26-0134】
- ◇ ホームページ：<http://www.ja-kitasorachi.com/farmer/index.html>

お料理コーナー

◆浅漬けダイコン入り卵チャーハン



◎材料 (4人分)

温かいご飯	640g
ダイコン	1/5本 (250g)
ダイコンの葉	50g
卵	3個
焼き豚(市販品)	200g
ショウガ	30g
しょうゆ	大さじ1
塩 ゴマ油 黒コショウ	



◎作り方

- ①ダイコンは3cm長さの千切りに、ダイコンの葉は小口切りにする。焼き豚は5～6mm角に切る。ショウガは千切りにする。
- ②ポリ袋にダイコン、ダイコンの葉、塩少々を加え、手でよくもみこんで、15分ほどなじませる。
- ③ボウルにご飯、割りほぐした卵を入れ、よく混ぜ合わせる。
- ④フライパンにゴマ油大さじ2を熱し、ショウガを炒める。香りが立ったら③と焼き豚を加えて炒める。
- ⑤ご飯がばらばらになってきたら水けをよく絞った②を加え、炒める。
- ⑥仕上げにしょうゆを回しかけ、黒コショウ適量をふり、さっと炒めて器に盛る。

『家の光』2018年3月号「家の光料理カード」から 調理：大越 郷子

JA職員 農作業実習報告 第5回

先月号に引き続き、若年職員（採用2～5年目）を対象としたJA非常勤役員宅における農作業実習につきまして、各実習生の感想や今後の抱負をご報告させていただきます。（今回で最終回となります。）

①実習先	②実習期間	③作業内容	④感想
総合企画室 企画広報課 白川 航（平成30年4月入組）			
①深川支所一已地区 赤川 光男 代表監事宅	②令和元年9月2日～9月3日		
③花き採花作業、花き選花作業、ハウス部品の除去作業			
④採花作業は、温度と湿度が高いハウス内で中腰での作業が主であったため、とても疲れました。また採花可能な花を判別することになかなか慣れず苦労しましたが、作業を続けるうちにコツをつかみ、効率よく作業を進められました。			
選花作業では、花の茎を折らないように緊張状態で作業を進めていましたが、実習先の雰囲気が明るく、世間話でコミュニケーションを取って頂いたので、楽しく作業できました。			
普段は営農や組合員の方々とは直接携わることがない部署のため、実習を通して組合員の方々と対話が出来たことはとても嬉しく、大変いい機会になりました。			
今回の経験を活かし、今まで以上に農作業現場の声や想いを地域住民・消費者に届けられるような広報媒体を作っていきたいと思いました。実習に携わって頂いた関係者の方々には心より感謝いたします。ありがとうございました。			
			
販売部 米穀課 松田 和弥（平成30年4月入組）			
①深川支所一已地区 赤川 光男 代表監事宅	②令和元年9月2日～9月3日		
③花き採花作業、花き選花作業、ハウス部品の除去作業			
④採花作業では、満開に近い花を見分けて採花していくことに最初は戸惑いましたが、実習先の方が親身になってサポートしてくださり、効率よく作業を進めることができました。			
選花作業でも、コミュニケーションを取りながら、非常に楽しく作業できました。また何か一つ作業を終える度にお褒めの言葉を頂き、「ありがとう」、「助かった」と言って頂いたことに、とてもやりがいを感じました。			
コミュニケーションが連携強化や作業の効率化に繋がっているところを目の当たりにし、その重要性を改めて実感しました。			
今回の実習では、組合員の方々から話で聞くことしかなかった農作業について学べる機会となり、非常に良い経験となりました。今回感じたことや学んだこと、経験したことをこれからの業務に活かしていきたいと思います。			
			

合格おめでとうございます

資格認定試験に次の職員が合格いたしました。

【農業経営診断士】

佐々木正博

【北海道農協職員資格認定試験】

特 級

盛本 隆一

上 級

土永 美幸

齊藤 剛

山田 千尋

内村 奈緒

大西 崇之

中 級

平山 幸子

上埜 祐輝

北島 亜美

福田 卓真

西村 理江



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和2年1月実績

○累計 (R1.12~R2.1)

発電電力 **22,030kwh**

発電電力 **34,783kwh**

計画対比 +14,349kwh

前年対比 +4,098kwh

計画対比 +14,092kwh

前年対比 +5,910kwh

令和元年度 JAきたそらち太陽光発電所 収支報告 (単位:千円)

項 目	元年度実績	計画対比		前年実績対比		備 考
	金 額	金 額	対 比	金 額	対 比	
R1年度発電収入 ①	22,002	16,848	5,153	20,875	1,126	H30.12~R1.11発電分
減価償却費	10,402	10,452	△50	11,658	△1,256	
償却資産税	1,129	1,284	△155	1,293	△164	
電気事業税	0	213	△213	0	0	
借入金利息	0	1,014	△1,014	203	△203	
その他諸費用	1,138	2,135	△998	1,108	30	点検費、保険料、管理費
支出合計 ②	12,670	15,100	△2,430	14,264	△1,594	
収 支 ① - ②	9,332	1,747	7,584	6,611	2,720	

営業時間変更のお知らせ

【金融共済部】

4月からATMの稼働時間が下記の通りとなります。

	ATM稼働時間（4月1日～10月31日）		
	平 日	土曜日	日曜日・祝日
本 所	9:00～18:00	9:00～17:00	9:00～17:00
金融共済音江支所		9:00～12:00	稼働しません
金融共済深川支所			
金融共済納内支所			
金融共済多度志支所			
金融共済雨竜支所			
金融共済北竜支所			
北竜町COCOWA			
金融共済幌加内支所			

※各店舗（窓口）平日9:00～16:00

※祝日の影響により営業を休止させていただく場合がございます。

※くわしくは下記までお問合せください。

金融共済部 本所（貯金・融資） TEL:0164-22-6618



【経済部 燃料課】

4月からSSの営業時間が下記の通りとなります。

SS営業時間（4月1日～10月31日）		
セルフ	音 江	7:30～19:00
	深 川	
	イチヤン	
フ ル	納 内	8:00～18:00
	多度志	
	北 竜	
	幌加内	

※燃料配送・ガスなどのお問い合わせは下記までご連絡お願い致します
配送センター TEL:0164-22-7171

【営農センター】

4月から営農センターの営業時間が下記の通りとなります。

営農センター営業時間（4月1日～10月31日）	
農業振興部	8:00～17:00
販 売 部	
経済部資材課・資材推進課	
深川支所	



健康百科

隔離と人権 ― 医療保護入院を中心に

吉本病院 院長 松本 三樹



最近新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の話題でもちきりであり、テレビを中心とするマスメディアで専門家と称する人たちが様々な意見を述べています。東北大学の押谷先生のお話を参考にすると、（私見ですが）2月15日現在でこの感染症に関して明らかになっているのは、①すでに渡航者からの感染連鎖が国内で成立しつつあり、かつ、感染連鎖が見えない場合があること、②PCR検査のキャパシティが（日々拡大しているとはいえ）限られており、検査対象者には状況に応じて優先順位をつけざるを得ないこと、③今のところ治療方法は対症療法しかないことの3点だと考えています。いずれ抗ウイルス薬、ワクチン、迅速診断キットなどのツールが開発されると思いますが、それまではパニックにならず、予防に留意するしかありません（政府、行政、医療等の感染症対策は時間経過とともに現実的かつ効果的になっていくと予想されます）。

さて、水際対策（ウイルスの封じ込め）のために横浜港に留め置かれたクルーズ船に関しても様々な意見が出されています。筆者は専門家ではありませんが、精神科医の立場からこの状況のジレンマ（すなわち、隔離と人権尊重のジレンマ）について少々記してみたいと思います。

精神科医は、医師法に加えて精神保健福祉法という法律に則り診療を行っています。例えば精神科への入院に際しては、(1)任意入院、(2)医療保護入院、および(3)措置入院（今回は省略）という3種類の入院形態があります。

(1)任意入院は一般の身体科と同じように「患者さんの同意」を得て行う入院形態です。ところが、精神科の患者さんの中にはごく一部ですが治療が必要であるにもかかわらず「病識（自分が病的状態にあり治療が必要であるという認識）」が欠如しているために治療への同意が得られない場合があ

図：精神保健福祉法

・精神保健指定医(18条)

- ・入院形態：① 任意入院(20条・22条の3)：任意入院でも行動制限は可能
② 医療保護入院(33条の第1・3項)、告知(33条の3) 応急入院(33条の7・33条の4)
③ 措置入院

・行うことのできない行動制限：

- ① 信書の発受
② 都道府県・地方自治体・人権擁護に関する行政機関の職員、および患者の代理人(弁護士)への電話・面会

ります。このような時には治療への導入のために、「精神保健指定医（精神保健福祉法第18条、図）」の資格を持つ精神科医が診察を行って治療の必要性があると判断し、かつ、家族の同意を得ることができれば、（わかりやすい言葉を用いれば）強制的に入院治療を行うことが可能です（病識の欠如した患者さんに外来的治療は困難です。まず来院しません）。これが(2)医療保護入院（第33条、図）です。

この入院形態は治療のためとはいえ、本人の意思に反して病院内に隔離するわけですから人権への配慮が不可欠になります。従って、入院に際しては都道府県知事に病歴等を記載した入院届を提出し、精神医療審査会（精神保健指定医や弁護士等で構成される合議体）による入院の妥当性に関する審査を受けなければなりません。また、通信等の行動は制限することができず（図）、患者さんは精神医療審査会に対して退院請求を行うことも可能です（この場合、精神保健指定医と弁護士等が来院して、患者さん、家族および主治医と面談して、入院継続の是非について審査を行います。ただし、入院継続が不適切と判定されることはほとんどありません）。

また入院形態を問わず、患者さんの精神症状によっては、精神保健指定医の判断によって患者さんを個室に隔離したり、時には拘束したりすることがあります（隔離は主に他害行為がみられる場合、拘束は当該患者さん自身の生命・身体に危険が生じる可能性が著しく高い場合に行います）。申しあげるまでもなく、隔離・拘束は最大の人権侵害の一つです。従って、私たち精神科医（特に精神保健指定医）は治療上必要な「隔離（時には拘束）」と人権尊重のジレンマに常に対峙しているというわけです。そして、このようなジレンマへの適切な対処に関しては、30年以上にわたって議論が続いています。

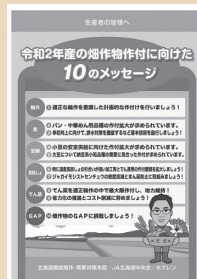
今回のクルーズ船に関するジレンマについては、いずれ詳細な検証がなされるところだと思います。それらの結果が明らかになるまでは、散発的な情報に惑わされず、かつ、物事の一面のみを見て状況を批評する態度は慎みたいと考えている次第です。

JA グループ通信

JA 北海道中央会



JAグループ北海道は、「令和2年産の畑作物作付に向けた10のメッセージ」と「畑作物のGAP」についてパンフレットを作成しました。10のメッセージは、①輪作体系の確立、②需要動向を踏まえた生産、③農業諸制度の堅持の3つの観点から、令和2年産の作付にあたって参考としてほしい情報をわかりやすく伝達することを目的としています。畑作物のGAPについては、令和元年度は一部生産者協力のもとプレ実施し、課題や問題点を整理し、令和2年度より本格実施する方針としています。詳細な内容については、今後、連合会やJAを通じてお知らせいたします。10のメッセージや畑作物GAPの具体的な内容については、QRコードよりパンフレットをご確認ください。



JA 北海道信連



JAバンクのキャラクター「よりぞう」が、協同組合間連携の取り組みの一環として、初めてコープさっぽろ・ろうきんのキャラクターとともに、11月に札幌市内の保育園を訪問しました。また、12月には、「よりぞう」と「ちょリス」が、岩見沢市、滝川市、旭川市の幼稚園を訪問し、子供たちと交流を深めました。

地域の皆様に、JAバンクをより身近に感じてもらえるような活動に取り組んでいます。



JA 共済連北海道



JA共済連北海道では、2月4日から開催された雪と氷の祭典「第71回さっぽろ雪まつり」の大通り7丁目「HBCポーランド広場」におきまして、令和元年度 JA共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品64点を展示いたしました。

JA共済連北海道は交通事故のない社会の実現に向けて、多くの観光客の方々にも交通安全の大切さを理解していただき、事故の防止につなげていきます。(写真は、昨年の会場の様子)



ホクレン



ホクレンは、北海道ぎょれんと共同制作、したカタログギフト「北の海と大地のギフト」を販売しており、旬の北海道産農畜産物・水産物ならびに、その加工品など北海道産食材の魅力をお届けいたします。

カタログを贈られた方が気に入った商品を好きなタイミングで注文できます。

価格は1冊5500円(消費税込み、送料除く)。詳しい内容は「ホクレングリーンネットショップ」のWebサイトで閲覧いただけます。



JA 北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

紙面をリニューアルし、より読みやすくさらに健康に役立つ医療・健康情報を発信しております。10月発行分にはプレゼント付きアンケートもございますので是非応募にもチャレンジしてみてください。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

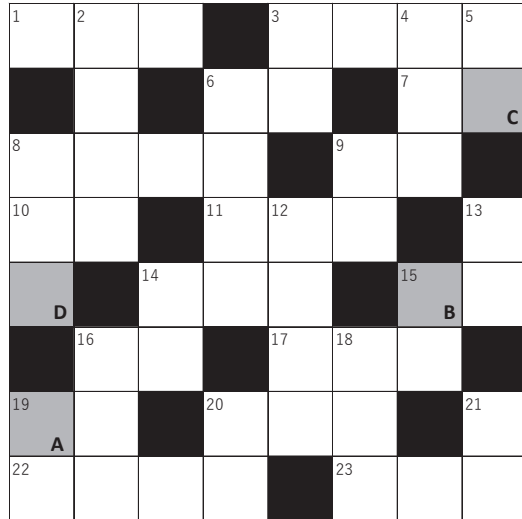
がんばれ!日本の農業

新とう、大地と地域の未来。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>



クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp



A	B	C	D
---	---	---	---

1月号の正解は

「ネズミ」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深川市 赤川みどり 様
雨竜町 松木 五月 様
北竜町 山下 領子 様

【タテのカギ】

- 2 物事を始める最初の段階、物事のし始め
- 3 花や実が多く集まって枝から垂れ下がっているもの
- 4 良いことにせよ悪いことにせよ、良きにつけ〇〇〇につけ
- 5 ジャガ、サツマ、サト、タロ、ナガ、コンニャク
- 6 漢字を組み立てている点や線の数
- 8 農業のために使われる土地
- 9 人や車などが往来する所、通路、道路
- 12 土埃を抑え、また涼しくするために道路に水を撒くこと
- 13 獣毛などを束ね、柄に植え付けた道具、のりや塗料を塗るのに使う
- 14 地球唯一の衛生、暗くなると空に見える
- 15 一つにまとめて束ねること、またその単位
- 16 飲んだり塗ったり注射したりして、病気の治療や予防に使うもの
- 18 木片を積んで色々な形を作る遊び
- 19 企画や原稿などを不採用にすること、〇〇にする
- 20 芥川龍之介著の短編小説「蜘蛛の〇〇」
- 21 鳥や昆虫が空を飛ぶための器官

【ヨコのカギ】

- 1 1896年と2004年の夏季オリンピック開催都市
- 3 物事の調子や都合、状態が悪いこと。具合が良くないこと
- 6 雨や日光を避けるために使う道具
- 7 大気中の水蒸気が凍って地表面や地物にできる氷の結晶
- 8 野外で夜を明かすこと、また野原や山で寝ること
- 9 樹木の根から上に伸び、枝や葉をつける太い部分
- 10 梅干しや梅酒の原料
- 11 計算したり、数えたりして出した数字
- 14 物事を知らせること
- 15 タケノコが生長したもの
- 16 植物の花や葉を支える部分
- 17 葉が3つに分かれているセリ科の多年草、吸い物や丼物の具にも
- 19 親分や親方、社長、所長などの意味をもつ英語
- 20 泉、和泉、出水に共通する読み方
- 22 魚を釣るのに用いる糸
- 23 油揚げをのせた〇〇〇うどん、〇〇〇そば

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上ご応募下さい。

締切3月31日消印有効で当選者とクイズの答えは5月号に掲載します。

【送り先】〒074-0022 深川市北光町1丁目10番10号

JAきたそらち総合企画室企画広報課 FAXの場合は 0164-22-8611

【ホームページ応募フォーム】URL: http://www.ja-kitasorachi.com/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。

二月俳句

● 雨電俳句会

餅をつく父は合の手ひびかせて
顔も手も歳月深き初かがみ
雑煮餅食べる数きく親笑顔
初スキー尻餅重ね腕を上げ
鏡餅どっしり構えて床の間に
細切れの雑煮餅ある長寿かな
一年を大きく丸め鏡餅

有田 茉莉
大林アヤ子
北川 満江
小山 邦男
松本 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

● 「道」俳句会 北竜支部

かばかりの雪に田畑の荷が重き
どの家も雪広く掻き小さき村
豆撒くや西南西に先ず礼を
地吹雪や行き着く先に生家の灯
過疎の村空は過密の冬銀河
氷上で少女は羽根を持つかまえ
冬早母を守りて家守る
春立つや夫と娘に日々感謝

山本 玲子
阿部れい子
吉尾 広子
山岸 正俊
山下 好晴
佐光久美子
杉本 隆文
高田 紀子

● 土筆俳句会

美容師に白髪をあづけ春ねむし
友の計を聞き雪掻きの手を休め
面の父鬼は外への豆あびる
病棟にも一期一会や春となり
アルプスの雪嶺が抱く野天の湯

高尾美津子
池田 美知
山川 輝子
南川富美子
小橋 厚子

第13回理事会〈令和元年12月19日開催〉以下の事項について決議・承認されました

報告事項

1. 関係団体等諸会議について
2. 会計監査人の再任の決定（内定）について
3. 令和2年度 監事監査方針について
4. 内部監査結果報告について
5. 北海道常例検査の検査結果について
6. 組合員の加入脱退について
7. 令和元年12月末推定決算について
8. 財務報告及び事業実績について
9. 職員の人事について
10. 令和元年度 出資増口結果について
11. 役員推薦会議の内容について
12. 貸出金の貸付報告について
13. 理事に対する貸出報告について
14. クミカン精算状況について
15. 遅延損害金の減免について
16. 令和元年12月時営農懇談会意見集約について
17. 農業経営基盤強化準備金の積立金取り崩しについて

議案第1号 出資減口について

議案第2号 出資金の持分譲渡について

議案第3号 令和2年度経営定期点検実施計画について

議案第4号 職員の期末手当の支給について

議案第5号 減損損失に伴うグルーピングの方針について

議案第6号 個人情報取扱規程の一部改正について

18. 女性部・青年部とJA常勤役員との懇談結果について
19. 社労士との業務連携による労働環境の整備について
20. 令和2年産米 生産の目安について
21. 令和2年度農業経営収入保険の加入状況について
22. 米在庫状況と業者別取扱数量について
23. 販売未収金について
24. 畜産販売実績について
25. 青果・花き集荷販売実績について
26. 令和2年度 農薬価格の設定について
27. 令和2年度 早取肥料奨励金の支払いについて
28. 令和2年度 温材予約奨励金の支払いについて
29. 経済部事業実績について

議案第7号 償却資産要領 資産の償却・引当基準の一部改正について

議案第8号 給与規程の一部改正について

議案第9号 貸出金の貸付決定について

議案第10号 理事に対する貸出承認について

議案第11号 農地評価額の見直しについて

議案第12号 担保評価マニュアルの一部改正について

議案第13号 固定資産の取得について

提出議案

1. 令和2年度 役員報酬審議会への諮問（案）について

2. 第7次農協経営計画にかかる当面の施設整備（案）について

協議事項



組合員の動き

（令和2年1月末日）

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,389	3	16	1,376
	団体	86	1	0	87
准組合員	個人	6,040	17	154	5,903
	団体	331	0	14	317
正組合員戸数		1,000	0	12	988

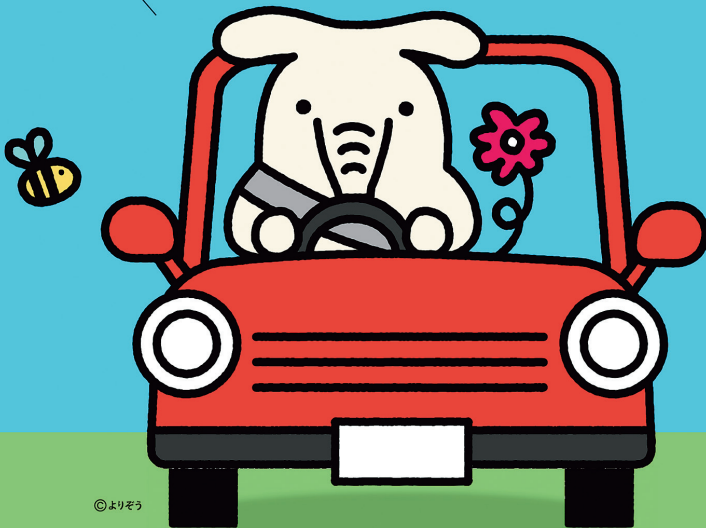
金融共済部 融資課からのお知らせ

ワクワクも、安心も、ついてくる!

2020

JAマイカーローン
キャンペーンシトシト人々に
当てる光

2020.2.3日▶7.31日



©よりぞう

抽選で100名様に

 ホクレンSSポイント(※)
10,000ポイント

または

カタログギフト「ホクレンセレクト」
ライラックコース**8,800円**(税込)

プレゼント!



※ホクレンSSポイント店頭で燃料油購入2Lごとに1ポイント提供。貯まったポイントは、1ポイント1円として、全道のホクレンSSで利用可能です(ただし、一部給油所・JAがポイント対応ができない場合がございます。詳しくは、ホクレンSSのHPでご確認ください)。

応募条件

キャンペーン期間中に、借入金額50万円以上、借入期間6か月以上のマイカーローンをお借入れされ、かつ個人ネットバンクをお申込みまたはご契約のある方。

応募方法

JA窓口で配布する応募用紙にてご応募ください。

懸賞品

抽選で100名様に、「ホクレンSSポイント10,000ポイント(10,000円分)」または「カタログギフト「ホクレンセレクト」ライラックコース(税込8,800円)」をプレゼント。

抽選

2020年2月～4月にお借入の方は5月に、5月～7月にお借入の方は8月に抽選を行います(各期間の当選者数は50名様となります)。

当選発表

当選の案内をもって発表に代えさせていただきます。

自動車の購入はもちろん車検の費用など、カーライフに関するさまざまな用途にJAマイカーローンを利用できます。

ご利用いただける方／○お借入時の年齢が満18歳以上、最終返済時の年齢が満80歳未満の方○継続して安定した収入のある方○保証機関の保証が受けられる方

■北海道農業信用基金協会保証の場合
・組合員の方(組合員にご加入いただくためには出資金が必要となります)
■信販会社保証の場合
・お借入金額が500万円超の場合は組合員にご加入いただきます。
○その他JAが定める条件を満たしている方

お使いみち／○自動車等の購入資金(新車・中古車・自動二輪・除雪機)○自動車購入時の諸費用、車検、整備の費用○運転免許の取得費用、車庫建設費用(100万円以内)○JA以外のマイカー資金の借換

お借入金額／1,000万円以内(所要金額の範囲内)
お借入期間／10年以内

お借入金利／固定金利型と変動金利型のいずれかをお選びください。

ご返済方法／元利均等返済(ボーナス併用返済可)

担保・保証／担保不要・JA所定の保証機関の保証が必要となります。

※マイカーローンの詳しい内容につきましては、JA店頭で説明書をご用意しております。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合がございますので、ご了承ください。

※マイカーローンをお借入中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合は、別途所定の手数料が必要となる場合がございます。詳しくは、JA窓口にお問い合わせください。



おトクな金利を
今すぐチェック!



1 「JAネットローン」ページから
「マイカーローン」を選択
JAネットローン
マイカーローン

2 お住まいの郵便番号を入力
金利をチェック! >

3 おトクな金利がすぐわかる!
JA○○○
固定 10年以内 #0.0%～#0.4%
変動 #0.0%～#0.4%
#0.0%～#0.4%

JA春の新車フェア 2020年1月1日(水)～3月31日(火) 契約分まで

4メーカー新車全車種対象 トヨタ、スズキ、スバル、三菱

新車ご成約で、もれなく記念品プレゼント! 詳しくはお近くのJAまで
(業務用車は対象外となります。ご了承ください。)



クルマスターなら、保障もサービスも、安心・充実!
必要な保障を無駄なくそろえた自動車共済です。

24時間
安心サポート
JA共済事故受付センター ☎0120-258-931
JA共済サポートセンター ☎0120-063-931



どなたでもお気軽にご相談ください。

JAバンク北海道
http://www.jabank-hokkaido.or.jp